



さみずっ子保育園での鬼退治

photo 天野 奈津美

特集

災害に学び

未来に活かす

主な掲載記事

- 災害に学び未来に活かす 2～5
- おじゃまします・ど〜こだ!? 6
- いづな歴史紀行・あっちこっちこの町 7
- 公民館ダイアリー 8～10
- アルバムからこんにちは・さんぽ道 11
- はぐくむ 12



台風19号通過後、町内の至るところで発生した倒木の被害

災害に学び

未来に活かす

2019年10月12日、台風19号において、飯綱町で甚大な被害は免れたものの、近隣地域の大災害により、ご親戚、ご友人、職場等で被災された方も多くいらっしゃいます。心よりお見舞い申し上げます。

建物、生活のみならず、心の平安においても、一日も早い回復をお祈り申し上げます。

編集委員 西村 啓大、近藤 りえ子、遠藤 美代子

昨秋、県内や関東各地に甚大な被害をもたらした台風19号。その勢力は史上最大級と言われながらも、過去台風による大きな被害が少なかった飯綱町に長年住んでいると危機感を持って備えるまでに至りませんでした。しかし刻々と報道されるニュースに恐怖を覚え、結果、町内でも想像を超える倒木や停電の知らせに、自分の災害に対する油断や甘えを痛感しました。

『100年に1度と言われる災害』は、『今後100年起こらない』という意味ではなく、『そのくらいの規模の災害が起こりうる』という警鐘です。想定外と言われる自然災害が増える中、今回の災害に学び、未来に活かすため、3人の専門家の方に、それぞれの視点でお話を伺いました。

飯綱町役場 総務課総務係主幹 消防防災担当 岩下 哲明さん

◎台風19号の飯綱町の被害状況を教えてください

住宅への浸水被害はありませんでした。主に強風による倒木、塗り壁の崩落、屋根のめくれなどです。倒木は牟礼西地区、特に別荘地が多く、住宅に直撃した倒木もありました。

人が住んでいる住宅被害報告は4件。倉庫や物置等は、報告のあったもので6件。報告されていない軽微なものもあると思います。また、農地等の崩落被害もありました。

住民の多くの方にご不便をおかけしたのが、倒木による停電です。芋川、普光寺、小玉、黒川、古町、東高原などの広範囲にわたって数日続きました。

◎町への問い合わせの内容で対応が難しかったことは何ですか？

電気に関わることは町では扱えないため、電力会社にお任せするほかありません。電線への倒木も素人が処理するのは危険です。とはいえ「現状はどうなっているのか?」「復旧の目処は?」「町から電力会社に働きかけてほしい」等の問い合わせも多かったです。電力会社には町からも早期の復旧を要請した他、町に寄せられた倒木情報も伝えていました。電力会社も県外からの応援体制など復旧に全力を尽くしていただきましたが、飯綱町以外の市町村も広く停電しており、町内全ての地区が復旧するまでに時間がかかってしまいました。

◎では、被災情報はどのように入手したらよいのでしょうか？

町では、防災無線、防災ツイッター、メール配信等で広報します。停電については中部電力のホームページから確認することができますが、ネットや携帯から情報を得られない方もいらっしゃいます。「自分が入手できる情報と現状に差があった」という声もありました。必要に応じて町が停電や鉄道の運行状況などを防災無線等でお知らせします。広報車の出動や、消防団の協力による各地区個別のお知らせが必要な場合も考えられます。また、双方向のやり取りができるツイッター、フェイスブックの重要性が高ま

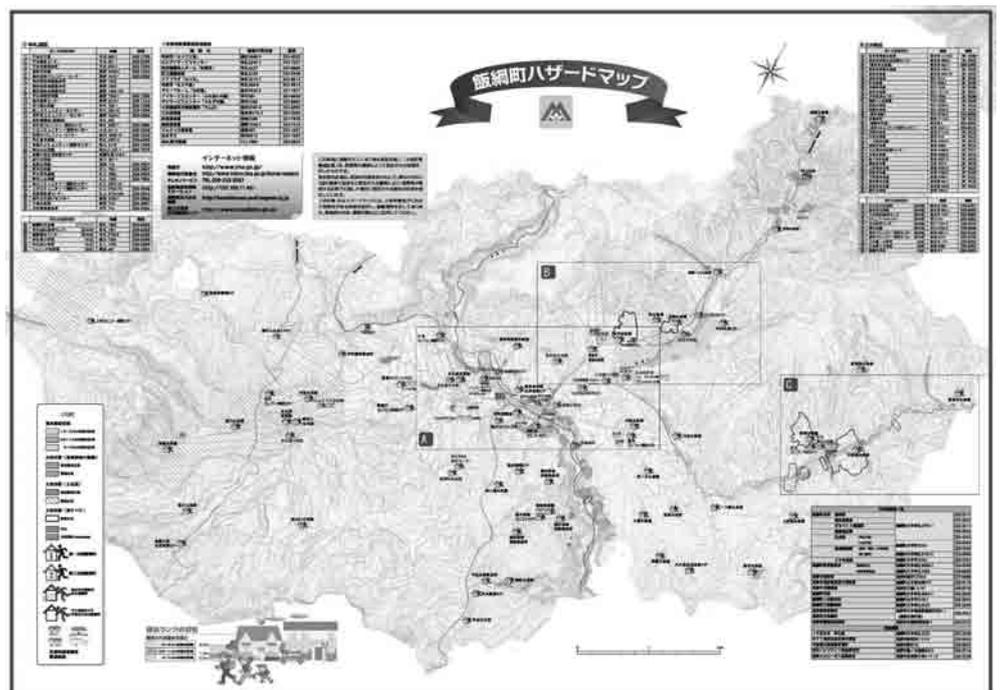


総務課総務係主幹 消防防災担当 岩下 哲明さん

っていることも感じています。ただ、不確かな情報が拡散されてしまう恐れもあるので、扱いには注意が必要です。地域で声をかけ合って、確かな情報を伝えていく、地域力やコミュニケーションがますます求められます。

◎避難については、町はどのような対応をしたのですか？

今回は避難所として町民会館と三水B&G海洋センターを開設しました。但し、その時々々の災害の様子によって、どの指定避難所を開設するかは変わってきます。また、避



飯綱町ハザードマップ

難者を受け入れていた三水B & G 海洋センターが停電してしまつたように、避難所も被災することがあります。残念ながら、行政が住民の皆さんそれぞれに避難に関する情報を個別にお伝えすることは不可能です。緊急時には、「自分の身は自分で守る」意識で、行政や報道機関などの発表する情報から、たとえ避難勧告などが発令されていなくても、状況にあつた早目の避難の判断が重要です。そこに住む人が「いつもと違う」と感じたり、「どう動くのが安全か」を判断するのが大事です。

また、移動時間、移動距離等を考えると、近くの公民館に避難したいという申し出があることもあります。避難所に指定されていない施設を臨時避難所にすることもできます。避難所がバラバラにあると、物資や情報が行き届かないこともあります。安全を確保することが第一です。避難所に指定されていない施設を臨時避難所として開設した時は、地区の役員の方から役場にご一報をいただくとともに、開設と運営のご協力をお願いします。

長期間の停電の対応としては、町社会福祉協議会にご協力いただき、入浴サービスを提供した他、携帯電話等の充電や簡易な調理器具を使用するための充電スポットを開設しました。

非常食など物資の備蓄は町でも進めています。住民の皆さんも各世帯で最低でも3日分、できれば1週間分を備えていただきたいと思えます。日赤奉仕団の皆さんが炊き出し訓練をするように、地区の公民館でも、そんな訓練ができる。平日頃からの防災意識が高まるかもしれません。申し出があれば、町の消費期限切れ間近の物資を炊き出し訓練用に拠出しています。

◎今回の災害では、消防団が活躍されたと聞きました

消防団には河川等の警戒・巡回等で出動を要請しました。地元からの要請で、宅地等へ浸水しないよう土の積みをししたり、巡回中に発見した倒木処理を率先して実施してくれました。消防団主体で充電スポット等を設置してください。この地域は自分たちで守る

という気持ちで活動してくれる消防団の存在は、大変ありがたかったです。

◎町の計画、これからの展望はどうですか？

新しいハザードマップを年度末頃に配布予定です。県が指定する土砂災害警戒区域の関係と、鳥居川の浸水想定範囲を1000年に1度くらい最大の規模の降雨を想定したハザードマップになっています（編者注 これらの情報は長野県の情報サイト、「信州くらしのマップ」にも詳しい）。

ハザードマップは平常時には、なかなか関心を持って見てももらえません。社協が地元に入って、地区毎に「災害時ささえあいマップ」を作っています。防災訓練等で利用して広く認知してもらえたいです。

ご自身の住まわれる場所が、どのような災害の危険があるのかを知り、住宅の関係も含めて事前に災害を防ぐ対策、または最小限に留める気配りも大事になってきます。中部電力さんとは、台風19号災害の直前、令和元年9月に災害

時の相互協力の協定を結んだばかりでした。今回の災害を教訓に、今後の対応について連携を深めていきたいと思えます。避難所などの施設に、停電のための非常用電源の整備も進める予定です。

また、地区の役員の方が代わってもスムーズに動けるように、被災時の行動をマニュアル化するのを計画しています。地区単位で知識や経験を共有しておくことがいざという時に役立ちます。

鳥居川消防署 署長 高橋 弘之さん

今回の災害状況と今後の対応策について

「飯綱町の以前の大きな災害といえばH7年の鳥居川増水による水害。それ以降はこれまで大きな水害や災害は見受けられませんでした。今回の台風19号はまだまだかつてない勢力を持った台風でどんな自然災害が起こるか分からないと警戒を強めていました。飯綱町では水害による被害というのは少なく、倒木や停電による119番への通報が多く寄せられました。また、この頃、鳥居川消防署は9人態勢で災害状況の確認や河川監視を行っていました。鳥居川消防署の管轄は長野市豊野町までのため、10月13日以降は豊野地区の水害対応が中心と



鳥居川消防署 署長 高橋 弘之さん

なりました」

消防署が基本的に行えるのは発生した災害への対応。災害への事前対応等の危機管理は町の管轄となります。飯綱町地域防災計画という災害時のマニュアルがあります。元々飯綱町は、防災意識が比較的高い地域だそうです。防災訓練等の時は各、区や組で身の回りの防災意識を高める活動と地区ごとにあつた指導

を行うようにしていた最中で発生した今回の災害でした。

「今回に限らず、今後の事を考えると倒木による停電や断水、トイレが使用できなくなるといった、便利な現代ならではの2次災害が起きてしまう可能性があり、そういった不便さへの備えをすることも大切となってくるでしょう。今までは違った視点での防災意識を住民自体が持つこと

のことで。備えあれば憂いなしです。困った時だけ頼るのではなく、日頃からの備えを自分の地域の方々とのコミュニケーションをとりながら行ってみてはいかがでしょうか？」

歴史ふれあい館 副館長 富樫均さん 環境地質学が専門のお立場から

「地震への関心がやや薄れていませんか？人は地震なら地震、洪水なら洪水と、経験したばかりの災害に関心が偏ってしまいがちです。近年の自然災害は『想定外』と表現されるものが多いです。数十年間は大丈夫だった経験が役に立たない可能性もある。ハード面の対策には限界もあるので、自治体の指示や既存の施設に頼るだけでは命は守れません。これからの時代は、自分の居住環境をよく知り、それに見合う日常の備えと、自身で複合的に身を守る意識を持つ事が大切です。それが『想定外を無くす事』につながると思います」

地域の里山管理や景観形成にもそれを活かせば良いと思います。個人の意識とともに、地域住民のみなさんが協力して、いざと言う時に何が出来るかを確認しておく事も必要です。歴史ふれあい館としても、遠い過去からの災害の記録を集めて、防災や減災に役立つ情報の提供をしていきたいと思えます」

と、おっしゃいました。

日常生活環境を観察すると、時の流れとともに同じ場所でも環境が変化していることがわかります。山に育つ植物、生息する動物、例年通りでは説明が難しくなってきた季節の特性など、年々変化は顕著に現れている事に気づきます。人間の社会活動も環境の変化に合わせていかなければならないのと同じで、自然環境も休むこと無く変化し続けていくという事です。

「変化の原因には人工的な開発、森林破壊などによる生態系の急激な変化、それらに伴い発生する気象災害もあるでしょう。しかし自然界の変化の動きは、どうしても人智を越えたところにありますから、変化の原因をひとつに絞ることはなかなか難しいと思います」

富樫さんのお話からも自然災害を未然に防ぐことは、簡単では無いことを改めて感じました。

富樫さんが勤務されている歴史ふれあい館の3階には町の地形模型が設置されています。飯綱山が噴火した頃の様子や地理的な特徴を伺うと、躍動感ある自然を身近に感じる事ができました。「もともとこの地でも、すくなくとも縄文時代の遠い昔から、ダイナミック(動的)な自然と人が共生し、そこからの学びと知恵を生活に活かして暮らしてきた歴史があります。その歴史の中にはきつと未来へのヒントもたくさんあるはずですよ」



いいづな歴史ふれあい館 副館長 富樫均さん

「安全・安心といった地域コミュニケーションの確立をすることができないのではないのでしょうか」

「今後は防災といった面で、火事や地震に限らず、倒木や停電時の対応など今回の災害を教訓とした、飯綱町の各地区の特徴にあつた訓練や対応等のレクチャーも鳥居川消防署としては可能と

さらに、

「防災は過去に学び、教訓を活かす事が大切です。その

自然は凄まじい力を持ち、時に災害として現れる一方、それは人が生きていくうえで多大な恩恵も与え続けてくれています。それらを顧みながら、私達が安心して賢く暮らしていく為の備えを考えてみる：今がその時なのかもしれません。

おじゃま
しまあ

坂上区のだんど焼き

今回は、坂上区のだんど焼きにおじゃましました。

ここ坂上区のだんど焼きは、鏡開き（1月11日）以降の最初の日曜に開催されることになっており、今年は1月12日に開催されました。

当日は朝9時から「ものづくり」が行われ、晩秋に組み立てが完了していた茅（かや）のやぐらへ、地区の育成会の子どもたち20名ほどが大人と協力し、各家庭から持参されたダルマや門松、しめ縄などの飾り付けを行います。会場には「わたしが飾りたい」「このダルマはぼくが飾るんだよ」と賑やかな声が響き渡っていました。

今年は記録的に雪が少な



子どもたちと大人が協力して行うものづくりの様子

いため、足場を確保するための「雪踏み」作業もなく、飾り付けがスムーズに進み、あっという間に作業が完了していました。ものづくり終了後、子どもたちにはミカンが配られ、みんな嬉しそうに受け取っていました。

参加した子どもたちに感想を聞くと、「かっこよくできた」「また来年もやりたい」との声。

そして日が暮れ始めた午後6時、60名ほどの区民が集まる中、区長の合図とともに今年の恵方（西南西）に火が灯され、やぐらが勢いよく燃え

上がり始めました。

書初めやお餅、マッシュマロを焼く姿が見られ、正月の伝統行事を堪能していました。火の勢いが収まってくると、

会場からは人の姿が減り、区役員と消防団が鎮火作業にあたります。通常だとスコップで雪をかけていますが、今年はその雪が全くないため、あらかじめ用意していた区所有のジョウロやウォータータンクに溜めた水を使用し、消火を行っていました。無事火が消えたことを確認すると、消防団員は毎年恒例の新年会へと出かけ、今年1年の無火災を祈りました。

子どもからお年寄りまで、みんなでつくりあげる冬の行事をこれからも大切にしたいと思っています。

（木賀田）



勢いよく燃え上がるだんど焼き

これは、どこから撮った写真でしょう。

ヒント みなさんが1度はお世話になったことがある場所の隣です。

ど〜こだ!?!

85号「ど〜こだ!?!」答え

坂口トンネルを背に仁之倉線（主要地方道長野信濃線）を北上、野村上交差点手前、チェーン脱着所付近から斑尾山方面を望む。



いづな歴史紀行

Vol.86

「八幡川」の化粧まわし



などで力自慢が競っていました。

赤塩地区でも八幡社の祭礼の日には、境内で奉納相撲が催され見物客でにぎわいました。

下赤塩の田中信雄家(田中商店)には、祖父信吉さんが使用した化粧まわしが残されています。信吉さん

んは、そうした奉納相撲で「大関」の免状を許された強豪でした。四股名は、地元の八幡社にちなんだ「八幡川」です。

化粧まわしには、八幡川の文字と三羽の鳥が刺しゅうされています。「赤塩有志」と刺しゅうした文字もみえるので地元の人達が寄贈したもののようです。

この化粧まわしの長さが、5mほどもあるのには驚きました。刺しゅうやきれいな布で縁取りされているのは、初めの1mだけです(前垂れと呼ぶそうです)。その前垂れに続く布地の部分は、折って腰に巻きつけるのだそうです。

信吉さんは、昭和30年頃、八幡社の祭日に、自費で新潟や近隣から相撲仲間を招いて引退相撲を催しました。この時にもこの化粧まわしが使われたとのことでした。

そして、それが八幡社での最後の奉納相撲となりました。小柳義男

シリーズ人権〜ねがい

(86)

最近読んだ「逝きし世の面影」(渡辺京二著)が非常に印象深く日本人の美徳―清き心、偽りのない心、素直な心について改めて考えさせられた本でした。この本は、江戸末期から明治初期の日本人の生き方を、当時日本を訪れた外国人の視点を基にまとめた書

ならぬことはならぬ

然に行つたのです。また子どもの変化の原因は、親の愛着

が足りなく、子どもの壁になることが足りなく「ならぬことはならぬ」の姿勢が弱く、その為、共感性が育たず、人の気持ちがわからなく自分を律する力が育たず自立することが出来にくくなっている。「ならぬことはならぬ」を教え、自分を律する心を育て、自立していく我が子を見守りましょう。

(人権教育推進委員 庄村道男)



No.49 むじな豆腐～飯山篇～

前号の中に、「飯山地方で食べられていた」との内容があったので、飯山で働いている者として放って置けない気持ちになりました。さっそく職場のデイクアの利用者さん達に聞いてみると、戸狩地区や常盤地区など飯山でも北の方面で知っている方が多かったです。80代の方が昔子供の頃、お母さんが作ってくれたとのことでした。今ではほとんど作られることはなく、

幻の味になつていようようです。レシピは一般社団法人いづな食文化の会の協力によって飯山市が出している「伝統郷土食とレシピ集」に掲載されています。さて、むじな豆腐という名前の由来ですが、有識者に聞いてみたところ、たぶんこのようなことから名付けられたのでは？という返事を頂きました。「むじな」はアナグマの別名ですが、タヌキやハクビシン*など、これらの種をはっきり区別することなく「むじな」と言っており、昔からムジナはタヌキやキツネと並んで、人を化かす(人をだます)動物と思われてきました。(※ハクビシンの由来は諸説あります。)



「むじな豆腐」はふやかした大豆をすり鉢ですり潰して、小麦粉と水を加えて団子に丸め、煮物などの料理に使います。同じく大豆を原料とした「豆腐」のように手間はかけていないので、「だます」↓「むじな」ということで「豆腐」に「むじな」を冠して「むじな豆腐」としたのでは？とのことでした。はつきりとタヌキやハクビシンを区別することなく「むじな」と呼び、人を化かす象徴として同じく「むじな」を使う古き良き日本人の奥ゆかしさを知るきっかけになりました。(飯田)

令和最初の元日

— 第15回飯綱町元日ジョギング大会 1月1日(水) —

今年も快晴の青空の下、飯綱町元日ジョギング大会が開催されました。

町内外から老若男女約370名が参加し、それぞれランニング、ウォーキングで汗を流しました。小さなお子さんの参加も目立ちました。

年々参加者が増加し、町の一大イベントとなった元日ジョギング大会。皆さん清々しい一年のスタートになったことと思います。

恒例の豚汁振舞いや福袋抽選会も行われ、会場は大いに賑わいました。



令和元年度いづなっ子くらぶ修了式

— 2月1日、15日、22日 —

令和元年度いづなっ子くらぶの修了式が各くらぶ内にて、行われました。皆勤賞や精勤賞を目指し、見事表彰された子やあと1歩のところまで表彰に届かなかった子など様々な表情を見ることができました。6月から2月まで地域の皆さんと様々な体験を通して、自ら考え、行動する力を育んだ子どもたち。さらなる成長を楽しみにしています。来年度も大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。



令和元年度松本市公民館報研修会

— 令和元年12月8日(日) —

令和元年度松本市公民館報研修会が12月8日(日)に松南地区公民館を会場に開催されました。この研修会は松本市公民館からのお声かけにより、飯綱町公民館報編集委員会が話題提供をする場となりました。高橋編集長による「公民館報的視点にこだわる」をテーマにした話題提供、地区を越えて編集委員同士での情報共有をするグループワークが行われました。

松本市の館報編集委員会の方々が館報「いづな」を読むと、地域を愛しているからこそ書ける内容だということ、非常に飯綱町の館報編集委員にとっては嬉しいお言葉をいただきました。他市町村の意見を聞く機会はありません。ため、とても良い時間となりました。



■飯綱町文化協会会員募集について

文化団体の育成及び会員相互の協調を図り、心の豊かさを求め、地域文化の発展と文化水準の向上推進に資することを目的として活動しています。

主な事業は、6月の「きらめきコンサート」、12月の「ゆかいなむら音楽会」、2月～3月は会員による1年間の成果を発表する展示部門と舞台部門の「飯綱町文化協会祭」です。

展示部門は、絵手紙・絵画・陶芸・プリザーブドフラワーなどの工芸・書道・俳句・写真・生花、舞台部門は大正琴・舞踊・民謡・楽器演奏・落語・カラオケ・謡曲・木遣り・コーラス・太鼓などの様々なサークルがあります。新たにサークルを立ち上げることも含めて、「飯綱町文化協会」の会員募集をします。

募集期間 3月1日(日)～5月31日(日)

年会費 大人600円 ※高校生以下は無料(令和元年度現在)

申込書 飯綱町民会館内文化協会事務局まで提出(申込書は町民会館にあります)

問合せ 会長 小林携帯へ TEL090-4461-1394

■いづなスポーツクラブ会員募集について

いづなスポーツクラブで健康ライフを築きませんか？
クラブでは令和2年度の会員募集をします。

募集期間 3月1日(日)から随時受付を開始します。

年会費 ・ジュニア会員(15歳以下) 1000円

・一般会員(16歳から59歳まで) 15000円

・シニア会員(60歳以上) 12000円

・ハートフル会員・幼児会員は無料

(ハートフル会員は障害者手帳所持者本人・6歳以下の幼児の方)

その他 スポーツ安全保険(加入区分別) 掛け金については別途必要になります。

問合せ 三水B&G海洋センター内いづなスポーツクラブ事務局

TEL253-8951

■公民館図書室よりお知らせ

3月2日(月)～4日(水)まで蔵書点検のため、公民館図書室を臨時閉館させていただきます。ご迷惑をお掛けしますがご理解とご協力を願っています。



中学校図書館新着本

- 国道食堂 小路幸也
- わたしの美しい庭 風良ゆう
- グレーテルの白い小鳥 斉藤 洋

- 気がつけば、終着駅 佐藤愛子
- キッドの運命 中島京子
- デッドライン 千葉雅也

- 風に乗って、跳べ 川端裕人
- できない相談 森 絵都
- 喧騒の夜想曲

日本推理作家協会

- 女童(めのわらわ) 赤松利市
- 首 北野 武
- てしごと あさのあつこ
- 稚児桜 澤田瞳子
- 抵抗都市 佐々木譲
- わたしのエコひいき農業 堀 俊一
- 虫といっしょに家庭菜園 小川幸夫
- 副業のはじめ方がわかる本 成美堂出版編集部
- 扉を開けて

- 共同通信ひきこもり取材班
- 大人の男アジアひとり旅 水野 純

公民館図書新着本

■一般図書

★自分のせいだと思わない。

小池一夫



73歳から始めたツイッターで

つぶやきが、多くの人に支持された。その中から、人間関係に執着しない233のメッセージ集。項目別に紹介されているメッセージは、心に響くものばかりです。

「言葉を大切に」の項目より一つ紹介します。

言葉にしないと伝わらない

もしかして、言葉にしないで、口から発しないで、相手に自分の心が伝わると思ってる？

言わなきゃわからないよ？

伝えたいことは、伝える手段が必要なんだよ。

「言わなくても察してくれ」は、自分の怠慢だよ。

■その他新着本

○ 慟哭は聞こえない 丸山正樹

○ 龍の耳を君に 丸山正樹

○ 飛雲のごとく あさのあつこ

○ 正しいとは何か 武田邦彦

○ 今、心配されている環境問題は、実は心配いらぬという

本当の話 武田邦彦

○ 思い出の青い丘 サトクリフ

○ セバスチアンからの電話

イリーナ・コルシユノフ

○ 絵本に魅せられて 佐藤英和

○ どうする？保育園&小さな子ども

のいる家庭での食物アレルギー

金子光延

■児童図書・絵本

○ ハヤクさん一家とかしこいねこ

マイケル・ローゼン

○ 北の海の冒険者

メアリー・ポープ・オズボーン

○ 魔法のたいこと金の針

茂市久美子

○ がっこうかっぱのおひっこし

山本悦子

○ たからげた

○ おやすみなおちゃん

○ おにぎりをつくる

○ ブルブルさんやまへいへ

○ たまごをつつてこぶたをかって

○ はっぱはくしょん

この他、随時新着図書が入っていますので、中学校図書館・公民館図書室へお出かけください。

●親善バドミントン大会開催しました



2月2日(日) 三水B&G体育館にてスポーツ協会親善バドミントン大会を開催しました。

一般の部は4ブロックに分けて、総当たり戦を行いました。今年は各ブロックの1位の組による決勝トーナメントを行いました。親善目的での大会なので、ルールもあまり堅苦しくなく、皆さんに楽しんでもらえたと思います。今回は参加人数が増えたこともあり、一般の部の表彰後に、経験者(上級者)の部を行いました。こちらはなかなか、白熱したと思います。

●初心者講習しています



1月26日(日) ふれあいパーク屋内ゲートボール場にて審判講習及び初心者講習会を行いました。主審・副審・記録とそれぞれがスムーズに動けるように試合の形式をとりながら、審判部の人々を中心に一つひとつの動作確認をしました。

また、今年始めた初心者の方の講習も行いました。ゲート通しや自分以外の球にあてたりとゲートボールの初歩的な動きを一通り行い、試合の進め方も講習しました。

スポーツ協会 試合結果

■子どもの部

第44回信濃町空手道大会

期日 12月1日(日)

会場 信濃町富士里支館

○小学3・4年 型の部

1位 藤田 梨音

2位 内田 悠月

○小学3・4年 組手の部

1位 内田 菜月

3位 藤田 梨音

○小学5・6年 型の部

1位 原田 成美

2位 羽室 ひな

3位 内田 菜月

○小学5・6年 組手の部

1位 原田 成美
2位 羽室 ひな
3位 内田 菜月

○中学女子 型の部

1位 飯田 さくら

2位 沢沢 理心

○中学女子 組手の部

1位 沢沢 理心

2位 飯田 さくら

信越リーグ戦小学生バレーボール 大会総合成績

期日 12月15日(日)

会場 三水小学校体育館

優勝 いいづな

MK杯第31回全国選抜長野県 ミニバスケットボール大会

期日 1月19日(日)

会場 長野運動公園総合体育館

○男子

4位 飯綱ミニバス

第13回ウィンターカップ中部日 本選抜小学生バレーボール大会

期日 1月26日(日)

会場 富山県

敢闘賞 三水ジュニア

■大人の部

飯綱町スポーツ協会展 親善バドミントン大会

期日 2月2日(日)

会場 三水B&G体育館

○一般の部

優勝 北村誓・外谷場洸士郎

○経験者の部

優勝 山川椋司・土倉愛美

会員募集

令和2年度

スポーツ協会ジュニアクラブ

陸上競技(牟礼陸上)

海洋クラブ(B&G飯綱海洋クラブ)

サッカー(FCイイツナ)(FCイイツナU15)

空手(空手道)

テニス(飯綱リゾートジュニア)

軟式野球(飯綱ドリームズ)

バレーボール 女子(いづな)

男子(牟礼VC)

(三水ジュニア)

ミニバス(飯綱ミニバス)

剣道(飯綱剣道教室)

クラシックバレエ(バレエレッスン)

申込期日 3月15日(日)まで

募集要項は学校を通じて配布済です。

提出場所 三水B&G体育館・飯綱町民会館

問い合わせ 飯綱町スポーツ協会事務局

TEL253-8951

お知らせ

令和2年度スポーツ少年団結団式

日時 4月4日(土) 午後6時30分

会場 飯綱町民会館 ホール

○結団式後、クラブ説明会があります。

アルバムから
こんにちには85

東京オリンピック
聖火ランナー

澁澤 登さん(栄町区)

昭和39年10月3日に牟礼村で行われた聖火リレーは、正走者として北部高校生6名が選ばれた。

これは12区の正走者になった澁澤さんが、旧18号線沿いに当時あった「牟礼

東学校裏バス停」付近で11区の正走者との引き継ぎを行っている一枚です。

ここから牟礼本町を通りガード下までの1・1kmを走りました。トーチを掲げた澁澤さんの後に予備トーチを掲げた副走者2名、その後

に小旗を持った随走者20名が続きました。「走っている間は、転ばないようにと緊張していたよ。そして走っていて驚いたのは線路の上にもでも大勢の人がのって応援していたことだ。今では考えられないよなあ」と。

また、「その中で次の正走者への引き渡しが終わったときはホッとしたよ」と感慨深く話してくださりました。

このときに支給されたランニング・パンツ・シューズは今も保存してあるとのことでした。

(平井)



前走者との引き継ぎを行っている澁澤さん

「俳句」

(飯綱俳友会)

新年の宮へも行かず二日酔い

名古 との

あらたまの百の願いを一つにし

日野 秀静

御神籤や吉や凶かと初笑い

仲俣 一重

虎落笛地蔵も耳をすましおり

東 奈々子

除雪車や何処か寂しげ出番なし

清澤 今朝勝

具茨山早き夕餉の冬至鍋

高野 修

黒つばの穴増やしつつ大根引く

富岡 英雄

初笑い厨弾ける嫁姑

荒川 しげの

枝展げ雪の降り積む神の徑

前野 孝子

千切れ行く旗の綻び虎落笛

寺島 美恵子

「短歌」

(農協女性部短歌教室)

良い事が待っていいそう元旦の

青い大空真つ赤な初日

坂井 寿男

着ぶくれて真夜を起き出で双子座の

流星群を見し日もはるか

外山 吉恵

赤と白寄り添う様にシクラメン

老いて感じる仲良く生きよ

宮本 ゆき子

アフガンで銃撃されし中村さん

人等の心に生きつづけると

井澤 喜世恵

道 ほ 人 た

1月の下旬、日当たりの良い土手でふきのとうを採りました。例年通りのふくらとした若々しい黄緑色。枯れた落ち葉の多い土手の中で、晴れやかな微笑みを私たちに向けてくれているようでした。今季の深刻な雪不足の影響で、いつもより早く目覚めなければいけなかったふきのとう。それでも環境の変化を淡々と受け入れ、自分の役割をまっとうしようと顔を出し、私たちを心身ともに喜ばせてくれます。その潔い育ち方に敬意を表し、いつもより感謝をしていたきたいと思います。

さて、ふきのとうのお料理といえばフキ味噌、天ぷらといったところですが、調べてみると、クリームチーズにフキ味噌をまぜてパンに塗って食べたり、生のふきのとうでペロンチーノを作ったり、ゆがいたふきのとうを豚肉や牛肉で巻いて甘辛く焼いたり、バターとふきのとうを加えてコロッケを作ったり、胡麻和え・ピーナッツ和え・クルミ和えにしたりと、若い人にも好まれるレシピがありました。いつもとは違う『早めの春』を迎えている私たち。いつもと違う料理方法を春を愛でてみるのはいかがでしょうか。

(高橋瑞穂)

飯網中学校作品紹介



「教室へのろうか」

本藤 万穂子さん(1年)



「オープンスペース」

宮島 夕季さん(1年)



「階段」

居川 知世さん(1年)



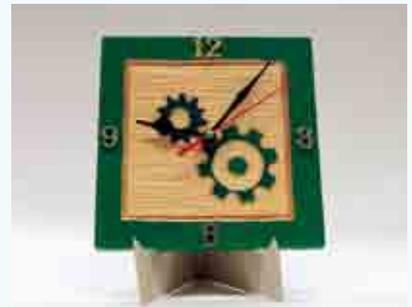
「橋」

山崎 樹さん(2年)



「Wonder land」

佐藤 晟名さん(2年)



「歯車」

松谷 真彩さん(2年)



「手」

山浦 明士さん(2年)



「巢窟」

松木 瞬弥さん(2年)



「フジギノクニノヨゾラ」

仲俣 美希さん(2年)



「沈黙の仏像」

坂本 彩葉さん(3年)



「室生寺金堂十一神将「末神」」

松木 孝幸さん(3年)



「阿修羅の想像」

小林 愛梨さん(3年)